

2025.4.10 (木)
第 37 回例会
(通算3799回)

2024-2025 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第86代会長 高橋 直人
副会長 吉田 英一
幹事 東堂 光春
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2024-2025 年度
国際ロータリーテーマ



2024-2025 年度
RI会長 ステファニー・M. アーチック
第 2500 地区ガバナー
小谷 典之 (帯広西 RC)

本日のプログラム 職場訪問例会 医療法人社団 三慈会 釧路三慈会病院 (職業奉仕委員会)

次週例会 夜間例会「春はあけぼの」(親睦活動委員会)

- ロータリーソング：我らの生業 ■ソングリーダー：小野寺 俊君
- 会員数 103 名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間 高橋 直人会長



皆さん、こんにちは。今日は当クラブ会員の西池理事長、羽田事務局長、スタッフの皆さまのご尽力で釧路ロータリークラブが初めて

の総合病院見学職場訪問例会です。

最新の医療を見学させていただくことにより、これから訪れるだろう老後生活の糧にしたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

昨日、釧路ロータリークラブ会長として初めて武修館高校の入学式に来賓として招かれました。新入学生の姿を拝見し、昔を思い出し、自分の時代と重なり新たな力をいただきました。当クラブ会長に任命されなければ、このようなことはなかったと思います。大変光栄なことです。ありがとうございます。

最後になりますが、今週の土日にクラブリーダーシップ・ラーニングセミナーが釧路市観光国際交流センターで開催されます。次年度、佐渡ガバナーの活動方針が発表されます。荒井エレクトの出港準備が整います。ぜひとも参加くださいますようお願い申し上げます。

今日はその後、三慈会病院さんの見学がございまして時間があまりないので会長あいさつは短めにいたします。

今日も楽しい職場訪問例会に訪問しましょう。よろし

くお願いたします。

■本日のプログラム■ 職場訪問例会 医療法人社団 三慈会 釧路三慈会病院

釧路三慈会病院の説明

医療法人社団三慈会 釧路三慈会病院

理事長院長 西池 淳君



会員の皆さま、こんにちは。本日は釧路ロータリークラブの職場訪問として、釧路三慈会病院に多数ご来院いただき、誠にありがとうございます。

います。

また、当院をご訪問先にお選びいただきましたこと、職業奉仕委員会ならびに高橋会長に心より御礼申し上げます。

それでは限られた 30 分間ではございますが、釧路三慈会病院の紹介をさせていただきます。

当院は 2009 年に開院し、2025 年で 16 年目を迎えます。釧路市の中心に位置し、病院のロゴマークは 3 つのハートをモチーフにしています。これは、私の父・故 西池彰が考案したもので、「三つの愛・慈しみの心」を象徴しています。

病院の歴史を少し振り返りますと、原点は 1969 年に開業した「西池整形外科医院」で、当時 17 床のクリ

ニックでした。私がまだ2歳の頃で、ちょうどピアノを習い始めた頃のことです。

その後、1998年に医療法人社団三慈会として新たに移転し、病床数も19床に。現在の当院の建物は元々、1985年に開設された釧路医師会病院でした。釧路地域の救急医療の中核を担っていましたが、2004年の地震や老朽化を機に新棟が増設されました。

2006年の医局制度廃止により医師派遣が難しくなり、病院の継続が困難となった際、父が当時の医師会長として病院を引き継ぎ、救急医療の灯を絶やさぬよう尽力しました。あの年が人生で最も働いた一年だったと、晩年に語っていたのを覚えています。

2009年4月に釧路三慈会病院として新たにスタート。開院当初は「常勤7名・非常勤16名」と記録されていますが、実際にはもう少し控えめな体制でした。それでも何とか立ち上げることができました。

現在、当院には整形外科、循環器内科、ペインクリニック外科、リハビリテーション科、消化器内科、リウマチ内科の6つの診療科があります。

整形外科では、人工関節治療を中心に、AIロボットを導入した精密な手術を行っています。腰椎の内視鏡手術では、わずか1cmほどの切開で翌日退院も可能に。さらに幹細胞を用いた再生医療や外傷・靭帯再建治療にも力を入れています。

常勤整形外科医は私を含め3名。私は下肢再建や再生医療を、次男の修が人工関節治療を、同期の海老原響医師が脊椎治療を担当しています。ほかに、東京・札幌から内視鏡チーム5名、上肢専門2名、慢性期外来2名が支えています。

循環器内科では、心筋梗塞や狭心症、不整脈のアブレーション治療などを実施。副院長の中村智晴医師と部長の尾畑嘉一医師の2名に加え、北大からの週末支援で地域循環器救急を支えています。

ペインクリニック外科では、最新の神経ブロックや脊髄刺激療法、再生医療を組み合わせた慢性疼痛治療を行っています。担当は三男の聡、副院長・渡部晃士医師、中田健夫医師です。渡部医師は、今年6月2日に札幌に「三慈会痛み治療クリニック」を開業予定です。

精神的にも配慮が必要な患者様のため、専用の待合室や透視室を整備しています。

リウマチ内科は、関節リウマチや自己免疫疾患の専門治療を実施。日赤の古川先生と協力し、専門医の少ない地域を支えています。

消化器内科では、内視鏡による胃・大腸検査を中心に診療。長年地域で親しまれた眞木先生を中心に、非常勤の西村医師とともに対応しています。

リハビリテーション科では、整形・循環器の術後回復や作業療法を提供。理学療法士12名、作業療法士2

名が常時マンツーマンで対応します。

その他、院内にはCT・MRIのある放射線科、エコー等の臨床検査室、カテーテルや透析を担う臨床工学科、栄養科、大浴場、通所リハビリスペースも完備しています。

病床数は一般120床に加えICU6床を備え、重症患者や術後管理にも対応。薬剤部は集中管理方式をとり、病棟やリハビリとの連携を強めています。

2025年現在、一般診療から高度専門治療まで対応する道東の中核病院として、これからも努力を重ねてまいります。

これより施設見学に移りますが、プライバシー保護の観点から見学エリアを限定しております。7～8名のグループに分かれ、5分間隔で順次ご案内いたします。見学ルートはリハビリ室→手術室→心臓カテ室→ICUの順です。白衣とマスクをご着用のうえ、ご見学をお願いいたします。

駆け足となりましたが、以上でご説明を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

